**横浜ビジネスグランプリ2022**

**～　アワード～**

**提出期限**

**2021年10月29日（金）**

**17時必着**

**事　業　計　画　書**

提出日：　２０２１年　　　月　　　日

**エントリー部門**（どちらかを選択し、チェックをつけてください。）

**（□ 一般部門　　　□ 学生部門）**

|  |
| --- |
| **事業プランタイトル（２０文字以内）** |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （フリガナ） |  | （フリガナ） |  |
| 応募者氏名（代表者） |  | 法人名（屋号）※個人で応募の方は記入の必要ございません。 |  |
| □男　　□女　　　（年齢　　歳） | 設立　　年　月 | 資本金　　万円 |
| 連絡先 | 所在地（住所） | 〒 |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| IDEC横浜経営相談窓口利用の有無 | 本事業計画書を持参し、IDEC横浜経営相談窓口を事前に利用しましたか？※1□はい→（相談日時：　月　　日　相談者名：　　　　　　　　　）　　　□いいえ |
| 起業の有無(一般部門のみ) | □起業予定（起業予定時期：　　年　月）　□起業済（新事業開始時期：　　年　月）（起業予定場所：　　　　　） |
| 現在の職業（いずれかにチェック） | □会社員　□経営者　□学生　□アルバイト・パート　□その他（　　　　 ）　 | 勤務先または学校名(学部,学科,ゼミ名) |  |
| 応募経緯（いずれかにチェック） | □ご紹介：紹介者名（　　　　　　　　　　　　　　　　）□Webサイト：サイト名（　　　　　　　　　　　　　）□Facebook□メルマガ：どちらのメルマガですか？（　　　　　　　　　　　　　　　　）□チラシ：どちらでお取りになりましたか？（　　　　　　　　　　　　　　）□以前から知っていた |
| 応募資格 | ＜一般部門＞次の①または②に該当する方1. 横浜ビジネスグランプリ2022～YOXOアワード～ファイナルから１年以内の起業を予定し、**横浜市内で事業を行う予定**のある方（発案者）

②**横浜市内に事業拠点がある、もしくは事業拠点を置く予定の**法人・個人事業主で、新たな事業に着手してから３年以内の方（代表者）＜学生部門＞　学校教育法に規定する大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校、若しくは日本国内のこれらに準ずると認められる学校に在籍する30歳以下（2022年３月31日時点）の学生（発案者）。但し、既に事業を行っている方は一般部門への応募も可能。＜共通＞①横浜市暴力団排除条例に基づき、暴力団でないこと。代表者または役員のうちに暴力団員に該当する者がある法人でないこと。②公序良俗に反するプランでないこと。③プレゼンテーション審査、ファイナル審査に選考会場までお越しいただける方原則、代表者が登壇することが条件です。 | □はい　□いいえ |

※1　横浜ビジネスグランプリ2022～YOXOアワード～の事業計画書にプランを記載し応募者がIDEC横浜の経営相談窓口（対面又はZOOM）を8/23～10/25の期間中にご利用頂き、事業計画書に対して相談員から助言を受けた場合には書類審査（26点満点）において1点進呈します。

＊シートは広げてご記入いただいても構いませんが、添付資料を含め最大10ページ程度に収めてください。データ量は

**5メガ以内にしてください。**

＊結果通知は、12月17日(金）までに**書類審査通過者のみ**にメールにて通知します。

**１　ビジネスプラン概要(枠に収まらない場合は、適宜広げて記入してください)**

|  |
| --- |
| **(１) 事業概要** |
| 1. **プランの内容を200字以内で簡潔に説明してください。**
 |
| **②本事業で解決したい課題と考案した動機** |
| ●なぜ、何のためにこの事業を行うのか、事業の考案に至ったきっかけや経緯等。解決するために活用できる自社（自分）の強み・ノウハウを併せて記載してください。 |
| **③具体的な実施内容** |
| ●どのような事業であるか、どのような製品・サービスであるか。※必要であれば、図表や数値等を使用する等、わかりやすく具体的に。※特許、商標等の申請に係る情報があれば記載してください。**【１】誰に（顧客ターゲット）****【２】何を（商品、サービス）****【３】どのように（提供方法、行うのか等）****【４】誰からどのようにお金をもらうのか** |
| **（２）新規性** |
| ●ここが新しい、ここに優位性があると思われる点はどこか。（製品、技術、サービス、販売方法、営業方法等において、競合先との差別化が図られる新規性・優位性のポイント等）**＜新規性＞****＜競争優位性＞****＜その他のポイント＞** |
| **（３）成長性** |
| ●対象となる市場の規模・将来性を想定し、事業の成長性、収益が見込めるものか。（市場動向、具体的な顧客ターゲット像をイメージし、確実に収益を上げ、成長していく見通し、その根拠等） |
| **（４）実現可能性** |
| 1. **顧客、売上見込**
 |
| ●既に抱えている顧客や確立した販路などがあれば、その実績。今後の具体的な事業実施体制等 |
| 1. **現在の取組状況、今後のスケジュール**
 |
| ●事業実現に向けたこれまでの取組内容や現在の状況、今後の予定はどのようになっているか。 |
| 1. **事業展開上の課題・問題点と解決策**
 |
| ●事業展開上のリスクや課題の検討をしているか。解決策をどのように考えているか。 |
| **（５）横浜経済や社会への影響・効果** |
| ●この事業が実施されることによって見込まれる横浜経済への効果や社会的な影響はどのようなものか。（雇用増進、地域資源の活用、地域連携等） |
| **（６）応募者プロフィール** |
| ●略歴、ノウハウ、業務経験、人脈等。（保有する経営資源、自己ＰＲ、強み等） |

**２　資金計画**

**資金計画は「一般部門」にエントリーされる方のみ記入ください。**

**（単位：万円）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 必要資金 | 金　額 | 資金調達 | 金　額 |
| 資金使途 | 運転資金 |  |  | 自己資金 |  |
| 金融機関借入 |  |
| 設備資金 |  |  |
| 親族、知人等からの借入 |  |
| 補助金、助成金、その他 |  |
| 合計額 |  | 合計額 |  |

※「必要資金」の合計額と「資金調達」の合計額は同一額にしてください。

**３　損益計算書**

**今後の予測数字について、「一般部門」にエントリーされる方のみ記入ください。**

**（単位：万円）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １年目 | ２年目 | ３年目 |
| 売上高　　　　　　　　　　①　 |  |  |  |
| 売上原価　　　　　　　　　②　　（仕入原価、製造原価） |  |  |  |
| 経費　　　　　　　　　　　③ |  |  |  |
| （内訳） | 　　費 |  |  |  |
|  | 　　費 |  |  |  |
|  | 　　費 |  |  |  |
|  | 　　費 |  |  |  |
|  | 　　費 |  |  |  |
|  | その他 |  |  |  |
| 利益　　　　　　　①－②－③ |  |  |  |
| ＜売上高、売上原価の数値説明・根拠＞●1年目の根拠●2年目の根拠●3年目の根拠＜経費の数値説明・根拠＞ |

|  |
| --- |
| **☛　直近の年間売上高（すでに起業されている方のみ）**円　（　　　　年　　月　～　　　年　　月実績） |

**＜了解事項＞**

・応募プランの知的所有権は応募者に帰属いたします。ただし、特許・実用新案権などの知的財産権、企業秘密やいかなるノウハウなどの情報の法的保護についても、応募者の責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない発表内容を決定するものとし、主催者、審査員はなんら責任を負わないものとします。

・書類選考を通過した場合、「応募者名」「プラン名」「応募概要」を公表することがあります。

またマスコミ等にプレスリリースをする場合があるので、新聞などに掲載される場合もあります。

・応募書類は、返却致しません。控えをとるなど、応募者の責任で対応してください。

・ご提出いただく個人情報につきましては、横浜ビジネスグランプリ2022～YOXOアワード～に関するご連絡、業務の円滑な運営のためにのみ使用させていただきます。

・プレゼンテーション審査、ファイナル審査に選考会場までお越しいただける方が対象です。また、原則、代表者が登壇することが条件です。

･新たに起業する方及び学生の場合は、発案者が応募資格者となります。すでに起業している方については、代表者が応募資格者となります。

**＜審査発表について＞**

・**書類審査結果については、**12月17日（金）までに**『書類審査通過者のみ』**へメールにてプレゼンテーション審査のご案内をします。横浜ビジネスグランプリ2022～YOXOアワード～に関する情報はＨＰ（https://www.idec.or.jp/business/venture/ybg.html）をご覧下さい。

＜お問い合わせ＞

公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部　経営支援担当

〒231-0021　横浜市中区日本大通11　横浜情報文化センター7階

TEL：045-225-3714 　E-mail：ybg@idec.or.jp